

二小の風

学校通信

平成30年11月1日

11月号

天理市立二階堂小学校

文責 北野 博康

<http://academic1.plala.or.jp/nisyo/>



落ち着いて学習に取り組める秋に！

朝晩はずいぶんと冷え込むようになり、木々の紅葉も進んできて、日に日に秋の深まりが感じられる季節となってきました。

先月は、突然の雨により2日間に渡っての開催となった運動会、芸術鑑賞、遠足、二階堂養護学校との交流会、修学旅行、そして、校内音楽会と学校行事が盛りだくさんでした。そうした行事ごとに子ども達の成長が感じられました。

各教室の授業の様子を参観して回ると、一学期に比べ、ずいぶんと落ち着いて学習に取り組んでいるように感じます。この時期は重点教材も配当されています。さらにじっくりと学習に取り組んでいきたいと思えます。

今月の13日には、そんな子ども達の学習の様子を県内外の先生方に公開する自主公開授業研究会を本校で開催します。当日は、全学級を公開し、本校が取り組んでいます『子ども達が訊き合い、聴き合って学び合う』の授業の様子を他校の先生方にも参観していただき、ご意見をいただくと考えています。

また、読書の秋です。秋の夜長を少しの時間で結構ですから、テレビを消して、家族そろって読書の時間に充ててみてください。



自分のことが好きになれるように

全校朝会で、手塚千砂子さん著の『ほめ日記』という本を紹介しました。ほめられると脳が喜んで、イライラすることがなくなったり、学習意欲がわいてきたりするそうです。その本には、他人からほめてもらうのを待つよりも、自分で自分をほめるという内容でした。例えば、「いつまでかかっているの！」と他人からは言われても、「時間をかけてていねいに仕上げた。」というふうに、自分をほめる言葉を自分で毎日ノートに書いていくといいそうです。

アンケートでは、本校の児童は、自分のことが好きだと回答する割合が県や全国と比べると、いくらか低いことが気になります。ぜひ、ほめ日記で自分のことがもっと好きになってくれればと思います。

緊張の中、一つになった校内音楽会 楽しんだ二小フェスタ

保護者の皆さんや地域の皆さんで超満員の中、校内音楽会が行われました。どの学年もこの日のために練習を重ねてきたのですが、どの子どももたくさんの観客を前に少し緊張しながらの合唱や演奏でした。その分、終わって大きな拍手をいただく、やり遂げたうれしさとほっとした気持ちでみんなとってもいい笑顔に変わりました。



みんなが真剣に、一つになって取り組む姿に、私は胸が熱くなってきました。音楽には人を感動させる力があるのです。

午後からは、PTAの役員さんを中心に進めてくださった二小フェスタでした。模擬店やバルーンショーやビンゴゲーム等で楽しみました。



夏休み後から準備を進めてくださり、準備や運営、後片付けまで熱心に取り組んでくださったPTAの役員の方々に、本当にありがとうございました。

修学旅行—平和集会

6年生が晴天の中、広島に修学旅行に行きました。原爆の子の像の前で行った平和集会では、全校で折った千羽鶴を捧げ、平和宣言や合唱、リコーダー演奏を行い、平和を祈りました。



また、被爆体験談を聞かせていただき、たくさんの碑や資料館も見学しました。その夜は、市内のホテルに宿泊したのですが、なかなか眠れなかったようです。

2日目は、早朝に起床し、宮島に渡り、厳島神社や水族館を見学し、お土産を買いました。最後は広島焼きを食べて帰りました。大切な思い出が増えました。

ありがとうございました

被災された倉敷市内の小学校への衣料支援をお願いしたところ、たくさんの方にご協力いただき、ありがとうございました。ボランティアの方がトラックで参観日に間に合うように届けてくださいました。